

山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司



大本山總持寺大祖堂

仁叟寺住職 年頭挨拶 ～大本山總持寺監院就任～



就任のご挨拶

本山監院 渡辺 啓司

送秋向寒の候 未曾有のコロナ禍の中、未だ続く諸々困難な現状、平穏な日常生活に戻るには大変なことと拝察申し上げます。

今般、石附周行紫雲臺下より任辞令を拜受いたし、乙川暎元監院老師の後任として、十月二十八日付を以て、本山監院職に就かせていただきました。

乙川前監院老師に於かれましては、十年を越える在職の中、故江川辰三大禪師猊下をお支えになり、大本山運営にあたり内外共に抜群の手腕を縦横に揮われました。その後を受けての監院職であり、自らの薄徳凡愚かつ古

希越えを省みず、汗顔の極みであります。現今諸般多難の状況下ではありますが、最後の報恩行と心得て、唯々大本山護持の為、只管歩ませていただく所存です。

来る令和六年の太祖大師瑩山禪師七百回大遠忌に向けて、大禪師猊下の御心をしっかりと頂戴し奉り、遠忌局、役寮、大衆、職員、一味同心にて邁進して参ります。全国のご寺院さま並びに関係諸会、諸団体各位に於かれましては、越格のご法愛を懇願申し上げますと共に、変わらぬご指導ご鞭撻を冀いまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

大本山總持寺出版部発行『跳龍』 令和三年十一月号より

令和4年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1～1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4～1/7 年始挨拶
- 1/10 年賀寺例
- 2/3 大節分会
- 2/15 釈尊涅槃会
- 3/13 大般若会/大施食会
- 3/18～3/24 春季彼岸会
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 7/13～7/16 新暦盂蘭盆会
- 7月下旬(一泊二日)
第40回子供禅の集い
- 8/10 中元寺例
- 8/13～8/16 盂蘭盆会
- 9/20～9/26 秋季彼岸会
- 10月 檀信徒研修旅行
- 11月 先住三回忌、寺族七回忌
- 12/8 釈尊成道会
- 12/10 歳暮寺例
- 12/31 除夜会
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講稽古
- ※隔週土曜日 華道教室
- ※毎月最終土曜日 ヨガ教室

仁叟寺住職 大本山總持寺監院として上山

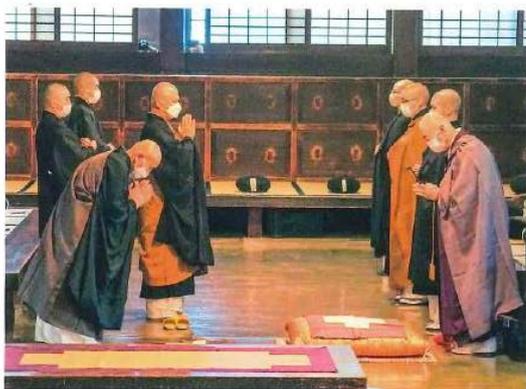


渡辺啓司監院が上山

この度当山住職が、昨年10月28日に曹洞宗大本山總持寺監院職を石附周行貫首猥下より辞令を拝受し、県内外の御寺院様、総代様方等に見送られ、大本山總持寺に入山しました。監院は、「かんにん」と呼ばれ、大本山總持寺の経営、運営を担う重職です。

ほか宗教法人曹洞宗の役員はじめ、学校法人總持学園の鶴見大学、同大学院、同高等学校、同中学校の理事長及び3つの保育園、母子寮等の社会福祉法人の理事長等にも就任いたしました。大本山總持寺内に監院寮という場所が用意され、本山に常在し、大本山と曹洞宗門の責務を担う事となります。

そのため、任期の間、群馬に戻ることは出来ませんので、今後の仁叟寺に於いての法務は、弟子で長男の渡辺龍道副住職が、その任に当たることになります。副住職は、緋恩衣許可等の十分な資格も有し、今後は、住職代行として仁叟寺と龍源寺を護持いたします。檀信徒の皆様のご葬儀やご法事等の檀務、正月・お盆・春秋彼岸会等の年間行事も、現在と同様につとめさせていただきますので、ご安心ください。ほか、同じく弟子の次男渡辺俊司和尚は、長野県佐久市の信永院住職として精進しており、兄弟が力を合わせ、法燈を御守りいたしますので、檀信徒の皆様方には、ご理解ご協力をお願い申し上げます。



僧堂掛搭式



香積台での版三下



渡辺啓司監院

昭和二十五（一九五〇）年十月十四日生まれ。仁叟寺住職（群馬県高崎市）。群馬県立高崎高等学校、駒澤大学仏教学部禅学科卒業。大本山總持寺安居、大本山永平寺安居。群馬県曹洞宗青年会会長、群馬県總和会会長、関東總和会理事長、群馬県宗務所長、全国宗務所長会監事、吉井町仏教会会会長を歴任。

10月28日修行
されました監
院掛搭式の際
に撮影した大
本山總持寺様
での集合写真



仁叟寺檀信徒研修参拝旅行 ～良寛禅師を偲ぶ旅～

令和3年11月3日修行 寄稿 篠崎正道総代人

良寛禅師ゆかりの記念館にて、多数の作品を拝見し、私には書かれている文字は、読み取ることには出来ませんでした。掛け軸等に書かれている文字のバランス、大小の強弱などとても素晴らしいものではないかと、又、文字の柔らかさや子どもの心をもつ優しさがうかがえて、良寛禅師の性格が出ていた様に思えました。良寛と夕日の丘公園では、佐渡島が見え海がきれいで景色が良く、時間が有れば、ずっと眺めていたい場所でした。



弥彦神社の参拝では、菊祭りが行われていて数多くの作品を拝見しましたが、どれも見事で、菊を育てた方々が大変な努力を重ねたのだろうなと思いました。

最後に、種月寺を参拝しましたが、バスを降りて参道を歩き山門をくぐり抜け本堂へ、参道にはコケがむして、庭も昔ながらの和風で、とても神秘的で心あられる気がしました。本堂の屋根は茅葺きで、山門も古く古風あふれる寺でした。ご住職のお話の中で2億円というお金をかけ、国指定重要文化財としての保存修理工事を行ったそうですが、昔ながらの形を大切にしているお寺で、何か懐かしさを感じさせられ、心安まるお寺だなと感じました。1446年(文安3年)に南英謙宗大和尚が建立した古き寺で、村上の耕雲寺、魚沼の雲洞庵、村松の慈光寺と並んで曹洞禅の越後四大道場の一つとして知られ、多数の雲水が修行に励んでいたそうです。



国指定重文・種月寺様本堂にて

今回の研修旅行で、難しいことはよくわかりませんが、毎日がせわしく、忙しい世の中、日常にかほっとした旅行でした。



良寛様生誕の地・良寛堂前にて

檀信徒の皆様へ

恒例の檀信徒研修参拝旅行は、本年秋に開催させていただく予定です。コロナ禍が落ち着いていけば、是非、当山住職が監院を勤める曹洞宗大本山總持寺様に伺いたく存じます。改めまして、ご通知ご案内致しますので、奮ってのご参加をお願い申し上げます。

令和四年 年 回 表

一周忌	令和三年	二十三回忌	平成十二年
三回忌	令和二年	二十七回忌	平成八年
七回忌	平成二十八年	三十三回忌	平成二年
十三回忌	平成二十二年	五十回忌	昭和四十八年
十七回忌	平成十八年	百回忌	大正十二年

※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。
 ※2 該当檀信徒各家には、封書にて通知が届きます。
 (但し、五十回忌・百回忌を除く)

「仁叟寺もみじ山歴史古墳公園」環境整備報告



⑤ 九月二十日作業集合写真
④ 八月八日 作業集合写真



仁叟寺の竹林を整備し、地元と檀信徒の方々のご協力をもって行っております高崎市の補助事業、里山元気再生事業が平成30年度末で期間満了となりました。伐採した竹林は既に7,000本以上。その跡地に、モミジやサクラおよそ300本を植樹し、小沢昇様と矢島正義総代長により参道脇に多くの山野草や福寿草のほか、多くの方々より寄贈された紫陽花を植栽。ほか森久総代人より水仙球根とムラサキツツジを多数頂戴し、山頂付近に植え、山田稔様、村尾さち子様等により彼岸花を、柿田均様よりツツジをいただき土手沿いに植栽いたしました。

高崎市補助事業は既に終了いたしました。引き続き昨年も5月30日、8月8日、9月20日の合計3回に亘り、総代人世話人有志にご協力いただき、下草刈りや篠竹刈り等の作業を行い、共に汗を流しました。

当地には、歴史を物語る古墳群も遺されており、昨年には高崎市教育委員会による調査も数度に亘り入りました。境内全景や上毛三山、吉井市街等が見渡せる風光明媚な場所。関係各位のご尽力のもと、里山再生に相応しい「仁叟寺もみじ山歴史古墳公園」に向けた整備が、着々と進めております。引き続きのご理解ご協力をお願い申し上げます。

仁叟寺古墳群整備報告 ～万寿亭建立～



昨秋「仁叟寺もみじ山歴史古墳公園」に東屋が整備されました。万寿屋先代社長様への供養のご浄財を、社長新井順圭氏寄進にて建立された休憩所は、その徳行を讃え「万寿亭」と称し、上原建築により施工されました。

鬱蒼とした竹林を整備したところ、古墳時代の墳墓、地蔵菩薩や薬師如来等の古石仏、江戸期に開墾された田畑や石垣跡がそのままの姿で遺されており、非常に貴重であることが判明いたしました。これからの調査が期待されます。

仁叟寺番犬「きなこ」の紹介

昨年夏より仁叟寺に来た番犬の「きなこ」です。令和3年4月生まれで、メスの柴犬になります。可愛いがってください。宜しくお願いします。



當山三十世重興 大澄隆司大和尚 一周忌及新盆



当山東堂一周忌法要風景



仁叟寺東堂三十世重興 渡辺隆司大和尚の一周忌法要が、祥月命日であった11月20日に、本寺雙林寺住職 石附正賢老師を御導師として、仁叟寺本堂にて修行されました。コロナ禍対策を十分に施し、御寺院様、総代人世話人始めとする檀信徒各位、親族来賓ほか約140名ほどをお迎えし、荘厳に一周忌法要をおつとめさせていただきました。

また、昨年8月の盂蘭盆会は、東堂の新盆でした。檀信徒会館欣光閣に盆棚を組み、檀信徒はじめ縁ある方々が多数見えられ、供養香を薫じていただきました。

一昨年11月20日のご遷化から、逮夜密葬、荼毘式、四十九日忌、百箇日忌、初彼岸会、逮夜本葬、新盆、一周忌と丁寧にご供養を行い、本年は、三回忌となります。また寺族の故渡辺テルも七回忌を迎えます。併せて法要をつとめさせていただく予定でございます。



自らを洲とする ～東日本大震災被災地支援～

昨年11月25～26日に掛けて、東日本大震災被災地域である福島県は南相馬市に伺って参りました。今回も恒例となった物故者慰霊法要を南相馬市新祥寺様本堂に於いて修行。同市小高区と同慶寺住職 田中徳雲老師によるご講話も賜り、改めて研修を行う貴重な機会を頂戴いたしました。

また奉仕作業は、新祥寺野田精顕住職と当山副住職ほか群馬県曹洞宗青年僧有志計8名で、被災地域である南相馬市小高地区にてつとめさせていただきました。被災地での依頼区域にて、除草と撤去作業等を福島県群馬県両県若手僧侶が力を合わせ行い、皆と共に汗を流しました。

早いもので本年3月11日で、11年が経過いたします。風化させることなく、出来る人が出来る時に出来る事を行う。引き続き、これからも微力ながら、協力をさせていただければと考えております。



田中老師のご講話



福島県での作業風景



総代長新年挨拶

新しい年を迎え、皆様におかれましては、ご健勝のことと拝察いたします。

突然の事、仁叟寺東堂様が、一昨年11月20日、肺炎のため、ご逝去され、昨年4月に本葬儀が、新型コロナウイルス対策をしながら、行うことが出来ました。役員の皆様・檀信徒の皆様には、ご支援ご協力等を賜り、大変お世話になりました。また、昨年11月20日には総代人・世話人等が中心となり一周忌を行うことも出来ました。ありがとうございました。

次に、仁叟寺ご住職様は、大本山總持寺の石附周行禅師様から、群馬県で初めて、「監院」のご指名を頂きました。普通では想像することのできない役職です。そこで、総代・世話人会議を緊急に行い、快く了解されました。監院(かんにん)とは、禅師様に次ぐ役職であり、大本山總持寺の全ての責任者です。そこで、10月28日「仁叟寺住職監院就任式」が、大本山總持寺で行われました。誰もが参加しなければわからない感動的な就任式でした。仁叟寺檀信徒にとって、こんな名誉なことはありません。詳しいことは、昨年11月に、お配りした「大本山總持寺監院就任のお知らせ」をご覧ください。今年の参拝研修旅行は、慰問を兼ねて、大本山總持寺様に伺いたいと思っています。

次に、11月3日に仁叟寺恒例の参拝研修旅行新潟方面に行ってきました。最初に、江戸時代に活躍した名僧良寛禅師ゆかりの記念館。寺泊では、

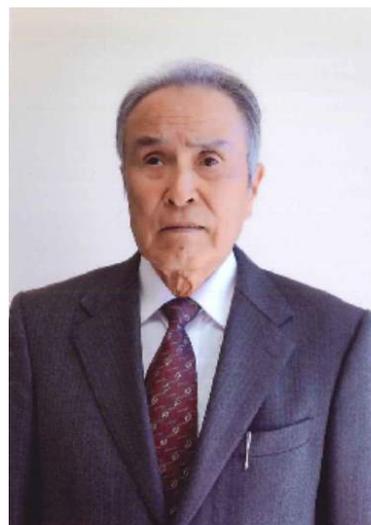
海産物の昼食と買い物。越後一ノ宮である弥彦神社を参拝し、菊祭り鑑賞。曹洞宗越後四大道場の一つである種月寺様でご住職による説明等を受け、内容の濃

い楽しい研修旅行となりました。詳しくは、篠崎総代人が、この紙面に掲載しています。

最後に、仁叟寺里山が、役員さんの草刈り作業等のご協力により、素晴らしい里山になってきました。また、多くの人々が、紫陽花の苗をご寄付してくださり、山野草と紫陽花の道も、完成間近となりました。あと4~5年もすれば、素晴らしい里山となるでしょう。

これからも皆様のご支援ご協力をお願いしたいと思います。

筆者・矢島正義 総代長
前群馬県宗務所護持会長



仁叟寺総代人一同

矢島正義	新井徳衛	篠崎和男
森 久	神保堯男	酒井範明
向井敏昭	三木和夫	齋藤悦男

檀信徒の皆様へ

住所等の変更がありましたら、必ず菩提寺までご連絡を下さいますよう、お願いいたします。

行雲流水 (編集後記)

編集人 住職代行 渡辺龍道

昨年は、東堂本葬、住職の大本山總持寺監院就任などなど様々な出来事が続きました。住職留守を預かる間、この歴史と伝統ある仁叟寺をしっかりと護持させていただくと同時に、檀信徒はじめお詣りに見えられた皆様、ほっとする「あんしんやすらぎ」の空間を提供出来ればと、改めて精進をさせていただき所存です。また、住職をつとめる龍源寺は、未だ解決に至っておりません境内地及び墓地の人災被災の復興に向け、出来得る限りの尽力をいたします。檀信徒の皆様はじめ縁ある方々のお力添え、ご協力をお願い申し上げ、新年の挨拶に代えさせていただきます。本年も宜しくお願い申し上げます。合掌

